

今年で20回目となる「子ども模擬議会」を、8月21日に市議会本会議場で開催しました。

今年は中学生が参加し、市内の8中学校から18人が参加しました。市について中学生たちが疑問に思っている質問を投げかけました。

今号では、中学生議員の質問と市の答弁の概要を紹介します。



前半議長：木村凜帆さん(土浦第三中学校)

畑から流出する土で埋まってしまう側溝について



土浦第三中学校：柳沢 蓮さん

畑から土が流出し、側溝が埋まってしまう。土が入り込まないように何らかの対策を練ってください。

市では、道路や側溝に土砂が堆積し、交通に支障をきたすことがないように、道路パトロールを定期的の実施し、危険箇所の早期発見に努めています。

また、畑からの土の流出を防止するためには、常日頃の畑の適正な管理が重要であることから、畑の周りに土留めとして草木を植えることや、畑と側溝の間に間隔を空けるなどの対策を畑の耕作者の皆さんにホームページなどにより周知していきます。

【建設部長】

特産物の新商品化・ブランド化について



土浦第一中学校：照沼萌花さん

レンコンリップなどをつくり、ブランド化することを計画しました。どのような課題があるのでしょうか。

土浦市は、れんこんの日本一の産地で、市の大きな財産です。れんこんにはさまざまな利用方法があり、「れんこんパウダー」は花粉症の改善効果があるとTVで紹介され、大人気となりました。

ブランド化には、他の産地のものと区別される「土浦ブランド」を育て、それに、愛着と誇りを持てる仕組み作りが必要と思っています。

【産業部長】

つくば市との合併について



土浦第四中学校：苅部七海さん

合併によって発生するメリット、デメリットについて、教えてください。

つくば市との勉強会を行い、まだ現状分析の段階ですが、今後、合併の必要性など、一歩踏み込んだ検討を行い、その良し悪しを含めて、時間をかけて、市民の皆さんに説明をしていきたいと考えております。また、合併で大事なことは、皆さんの生活が豊かで便利にならなければならないことであり、皆さんが誇りと自信をもって話せる「日本一住みやすいまちの土浦」を目指してまちづくりを進めていきます。

【中川市長】

駅前の新図書館について



土浦第二中学校：下條椿絵さん

駅前に移転が予定されている新図書館について、施設の内容を教えてください。

新図書館は、土浦駅北再開発事業の中心施設として整備を進めています。再開発ビルの2～4階部分に整備される新図書館は、ユニバーサルデザインを導入し、カフェや交流エリアを設置するなど、あらゆる年代の方が利用できる施設となっています。

市役所などの駅前の施設とあわせて、賑わいと活気に溢れるまちづくりを目指していきますので、楽しみにしてください。

【井坂教育長】

土浦の将来を担う中学生たちからの問いかけ

中学生模擬議会



放射能の調査について



都和中学校：島田^{そらち}空知さん

市では、定期的に放射能についての調査をしていますか？

また、まだ放射能が高く危険な地域はありますか。

市では、東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所の事故で放出された放射線物質が除染基準を超える地域については、子どもの生活空間を優先して除染作業を行いました。その結果、平成24年初頭に除染基準を超える地点が確認されていましたが、平成25年末には、除染基準を超える放射線量は観測されませんでした。今後も放射線量を監視し、必要な安全対策を実施していきます。

【市民生活部長】

災害時の安全対策について



土浦第五中学校：佐藤^{このみ} 好さん

土浦市では、災害時の避難所など市民の安全対策をどのようにお考えでしょうか。

市の防災計画では小中学校28校をはじめ高校、地区公民館など市全域をカバーできるよう避難所に指定しており、災害の規模に応じてどこかの避難所でも利用可能ですが、いつ、どこで起こるか分からないのが災害であるため、一人ひとりが災害に備え、適切に行動することによって被害は最小限に抑えられます。

また、飲料水や非常食などを各家庭で準備することも大切です。

【総務部長】

交通の便について



新治中学校：小神野^{にしほ}虹歩さん

今、新治地区では公共の交通機関が非常に少ないです。現在取り組んでいることや今後行う予定の事について教えてください。

現在、市では公共交通に対する取り組みとして、「キララちゃんバス」、「のりあいタクシー土浦」、「コミュニティバス」および一部のバス路線に対する支援を行っています。

今後、高齢化が進み、運転できない方の増加が予想されるため、市では、地域や交通事業者と共に公共交通の維持・確保に努めていきますので、皆さんもできるだけ公共交通をご利用ください。

【都市整備部長】

学校の周りについて



土浦第六中学校：内田^{ゆうか}優香さん

学校の周りの道路にガードレールや電灯を増やしたり道路を広げたりしてください。

市では、通学路の危険な場所について道路の修繕などの改善を実施しております。ご質問の件については、設置が可能な場所には、市でガードレールや転落防止用の柵等を設置し、電灯については、現地を確認し、防犯灯の設置を区長さんたちと相談していきます。

また、茨城県が管理する道路については、自転車安全に通行できるよう安全対策の検討や道路の舗装の改善などをお願いしていきます。【五頭副市長】



中学生 模擬議会

不審者の対策について



土浦第三中学校：三浦むぎほさん

土浦市内における防犯カメラの設置状況と防犯パトロールの実施状況を教えてください。

防犯カメラは、警察署や地域の皆さんの意見を参考に、駅など不特定多数の人が利用する公共の場所に市内全体で36台が設置されており、今年、三中地区に2台を追加で設置する予定です。防犯パトロールについては、町内会単位で自主防犯組織が結成されており、現在、167町内で約7,000名の市民の方々が各地域の通学路や町内の巡回をしています。また、不審者情報については、「土浦市安心・安全情報メール」を携帯電話やパソコンなどへ配信していますので、登録をお願いします。【市長公室長】



後半議長：山崎紫音さん(土浦第四中学校)

ふるさと納税について



土浦第一中学校：坂本美優さん

土浦市のふるさと納税の目標額はいくらかでしょうか。また、今年のふるさと納税で寄付のお礼に決定しているものはどのようなものでしょうか。

ふるさと納税は、生まれ故郷やお世話になった地域などへ寄付する制度のことです。本市では、制度を拡充し、この9月から地元特産品等をお礼として送付できるよう準備を進めており、すでに土浦全国花火競技大会の機材席については、受付を行っています。今年はまず、1千万円の寄付を目標としております。いただいた寄付金は、防災対策整備事業や土浦全国花火大会の安全対策、ごみの減量化・再資源化など5つのプランに分けて活用しています。【小泉副市長】

救急車の利用について



土浦第四中学校：山崎蒼生さん

救急車について、1回の出動にかかる費用や困った通報について教えてください。また、救命に対する新たな取り組みについて教えてください。

救急車が1回出動するたびに約5万5千円の経費がかかります。また、救急車は台数が限られているため、「交通手段がない」など安易な救急要請はしないでいただきたいですが、本当に必要な場合は、ためらわずに119番通報してください。

救命に対する新たな取り組みとして、昨年から、救急救命士の処置範囲が拡大しましたので、救命率のアップに向け、今後、救急体制の充実と救急救命士の技術向上を図っていきます。【消防長】

霞ヶ浦の水質について



土浦第二中学校：鮎川友一さん

霞ヶ浦の水質を維持するための施策と、私たちにやってほしいことを教えてください。

大切な水資源である霞ヶ浦は、さまざまな排水が流れ込んで汚れた状態になってしまいました。

霞ヶ浦の水質を改善するために、市では、公共下水道の整備、農業集落排水処理施設の整備、高度処理型浄化槽の普及の三つの施策に取り組んでいます。

皆さんが霞ヶ浦に関心を持って、身近な水質浄化を実践できれば、霞ヶ浦の水質をさらに綺麗にすることができると思います。【中川市長】

ポイ捨ての対策について



都和中学校：秋田夢羽さん
空缶や紙切れなどのポイ捨て、粗大ごみの不法投棄に対して、市では何か対策をとっているのでしょうか。

道路に時々落ちていた空缶や紙切れなど散乱ごみの対策については、市民の皆さんのご協力が不可欠であることから、市では、毎年「ごみゼロの日」に、町内会ごとに市内全域で道路や空き地の一斉清掃をしたり、年2回の「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」では、市民参加のもと、土浦港をはじめ桜川などの河川堤に散乱するごみを回収しています。粗大ごみの不法投棄については、県や警察などの関係機関と連携を図るとともに「不法投棄禁止」看板の設置や職員によるパトロールを実施し、防止に努めています。【市民生活部長】

土浦駅付近のシャッター街について



土浦第五中学校：青木南澄さん
土浦駅前付近の活気をよみがえらせるために、どのような計画があるのでしょうか。

市では、中心市街地の活気を取り戻すため、「土浦市中心市街地活性化基本計画」を策定し、新市庁舎や新図書館整備などのハード事業から、桜まつりやキラまつりなどのソフト事業まで、78の事業を計画に位置付け、活性化に取り組んでおり、中心市街地の魅力を高めることで、まちなかに以前のような活気が戻ることを期待しています。また、新たに商売など仕事を始める方々を育成する事業にも着手しており、若い人や女性などさまざまな人々たちを支援していきたいと考えています。【中川市長】

少子化対策について



新治中学校：飯島真尋さん
土浦市では、少子化に対してどのような対策を行っているか具体的に教えてください。

土浦市は、安心して子どもを産み育てることができる社会を実現するために「2015つちうらこどもプラン」を策定して、保育所の整備、医療費の負担軽減など200を超えるさまざまな子育て支援事業に取り組んでいます。また、こども福祉課の窓口にも、案内人として「子育て支援コンシェルジュ」を置いて、子育てサービスを利用しやすい環境を整えました。このような事業を通して、子どもたちがどんどん増えて、子どもたちの笑顔があふれるまちになるよう少子化対策を進めていきます。【保健福祉部長】

校舎の改修工事と耐震工事について



土浦第六中学校：糸賀 心さん
学校のトイレが壊れて水漏れやにおいが気になります。また、学校にはひびが入っている部分がたくさんあります。改修や耐震などの工事の予定はありますか。

土浦第六中学校は、建築後33年が経過し、施設に傷みが見受けられます。特にトイレについては設備の老朽化や異物の混入などを原因とした臭いや詰まりが出ており、その都度対応はしていますが、根本的に解消できない状況です。

耐震性については、地震に強い新しい基準で建てた校舎なので、耐震補強工事の必要はありませんが、老朽化により、今後校舎の内外装改修が必要となるため、現在検討を進めています。【教育部長】

